

NEW OKUNO HOSOMICHI-YAMAGATA
新・奥の細道

一周ルート
⑫

バラと湖をめぐるみち

Barako-to-mizuumi-o-meguru-michi



山形県

NEW OKUNO HOSOMICHI · YAMAGATA
GUIDE
みどころ案内

愛宕神社のケヤキ林 Atago-jinja-no-keyakibayashi

愛宕神社の境内地は、楯山麓の西端の突角部分が、市街地に残された土地です。土地は、岩盤と岩塊からできており、表土がほとんど無いため、樹木の生育には適さない環境にあります。唯一、ケヤキだけが順調に生育しています。これは、岩の隙間に侵入して根を張るケヤキの特性と、この土地の岩盤が保水性と通気性を備えていたことによるものと考えられています。

愛宕神社のケヤキ天然木は巨大老樹ではありませんが、巨岩を抱きかかえるものや「けんいん根」、「支持根」といわれる樹形を実物標本として現すなど、岩の隙間に侵入し、根の肥大により岩を割り進むケヤキの特性を観察できる資料で、学術的にも重要なものです。(県指定天然記念物)



愛宕神社のケヤキ林

最上徳内記念館 Mogami-tokunai-kinenkan



北方の先覚者最上徳内(1755~1836)が生まれた楯岡は、当時宿場町として栄え、各地から物産や文人の交流がありました。徳内も商業をしながらさまざまな体験や情報に接することとなり、学問を志し、北方探検の知識を学び、生涯で9回もの蝦夷地調査を行うという偉業をなしました。そこで見聞きした事から地図や書物に表し、探検家として高い評価を得ることになりました。また、医学・数学・地理学・儒学などにも優れて「蝦夷草紙」という本を著しています。さらにオランダ人医師シーボルトは、徳内とアイヌ語辞典の共同編纂に取り組んだこともあったため、帰国後に編集発刊した『NIPPON』に徳内の業績を紹介し、「18世紀における最も卓越した日本の探検家」と賞賛しています。この徳内の偉大な功績や記録を展示するために、最上徳内記念館が平成5年にオープンしました。館内には、当時使われていた測量器や書物、そして地図などが展示されており、徳内が見た北方探検のロマンが感じ取られる記念館となっています。また、人工衛星から電波を受信し高精度に位置を求めた経緯度標を作り、徳内研究の情報発信地となっています。

◆開館時間/9時~17時(入館は16時30分まで) ◆休館日/月曜日
◆入館料/大人200円、中学生以下100円 ◆お問い合わせ/0237-55-3003

バラ園と五つの湖を通る道です。特に東沢公園バラ園は、東日本一の規模を誇っています。公園の南側には、北方探検の先駆者「最上徳内」を奉った徳内神社があり、その先へ進むと、最上三十三観音として知られる小松沢観音にたどり着きます。終点の東根温泉では、歩き疲れた体をリフレッシュできます。

東沢公園 Higashizawa-koen

東沢公園は、三つの湖とバラ園を中心に、秀峰・甕岳を背景にした面積72haの都市公園です。昭和5年に付近の地名が東沢であることから東沢公園と名づけられました。

公園内には、バラ園はもちろん、知恵と福の神として知られる弁天様、児童の広場、書道家の心よりどころとして建てられた筆塚、正岡子規の文学碑などバラエティーにあふれる総合レクリエーション施設となっています。

6月には東日本一の規模を誇るバラ園で、500品種、15,000株のバラが咲きあふれ、「バラまつり」が行われます。バラの見ごろとなる6月上旬から9月中旬までは、バラの花の気品ある香りが満喫できます。

公園内の溜池、東沢湖では、世界三大珍味のキャビアとして有名なチョウザメが飼育されています。



バラ園



東沢湖

小松沢観音 Komatsuzawa-kannon

天平9年(737年)高僧行基がこの地を訪れ、阿彌陀如来、薬師如来、観音菩薩の三体を彫刻し、御堂を建て三尊を安置し、巖上寺が創建されたといわれています。

その後、2度の火災にあい、御堂は焼失しましたが、尊像三体は無事で、その後再建された観音堂が現在の小松沢観音です。

境内はうっそうとした立ち木の中にあり、石段をのぼると仁王門があり、ここには、楯岡荒町町内会奉納の大わらじがあります。正面には観音堂、左手には弁天堂、さらに厄除け大師(弘法大師)堂、左の高台に鐘つき堂、石段下には不動堂の伽藍が配置されています。

山奥にある静寂な霊場・最上三十三観音第二十番札所として県内外の観音巡礼で賑っています。

※行基——日本全国を巡り、仏教を布教し、寺院を建立した奈良時代の高僧。
※伽藍——寺院の建物の配置のこと。

東根温泉 Higashine-onsen

温泉のはじまりは、1910年(明治43年)水田へのかんがい用井戸を掘った時に湧きだたもので、比較的浅い(深さ100~120メートル)ところから温度65°C~70°Cのすばらしい温泉が毎分1,200ℓ湧きでています。

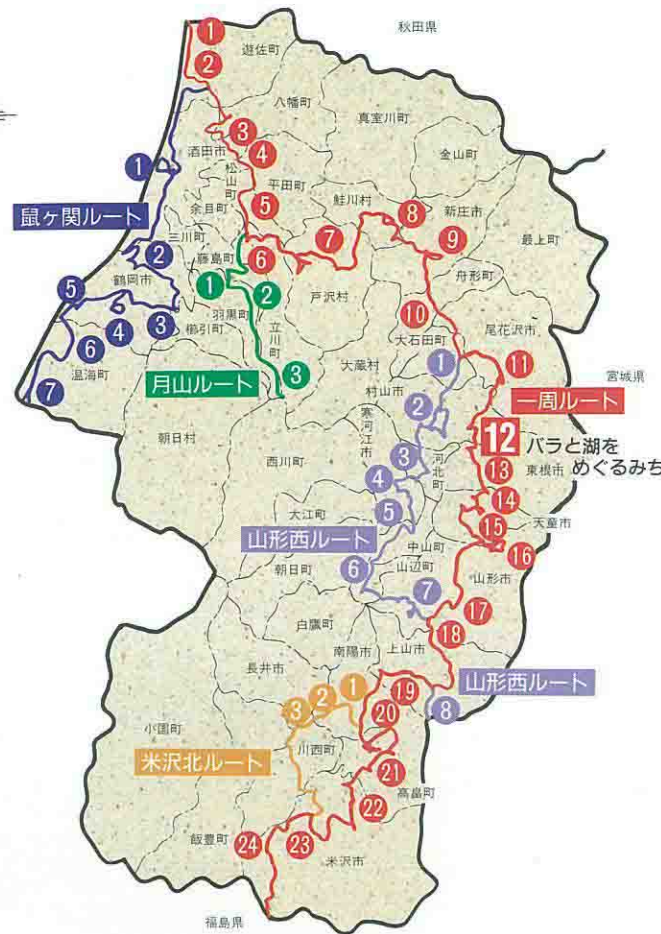
泉質は弱食塩水で淡い『黄金色』をしており、胃腸病、神経痛、リュウマチ、婦人病、きり傷、病後回復、疲労回復、健康増進に効能があると評判が良く、大自然の心地よさと地域の人々の心の温かさとともに観光と保養に満足できる温泉です。

◆お問い合わせ/東根温泉協同組合 0237-42-0857



東根温泉

YAMAGATA MAP
東北自然歩道(新・奥の細道)ルート図



“新・奥の細道”とは

自分の足でゆっくり歩きながら、森や川、野鳥や虫など豊かな自然にふれあい、また、その地域の特徴ある文化や歴史と親しむためのみちです。

“新・奥の細道”は正式には東北自然歩道といえます。この自然歩道は、一日で歩ける程度の遊歩道を1つのコースとして、コースの間をバスなどでつなぎながら東北を一周する長距離自然歩道です。そして、この道は福島県白河を起点とし、宮城、岩手、青森、秋田、山形の順で経由して福島県郡山に至るルートになっています。

また、この“新・奥の細道”は東北を一周するルートの他に、景観の優れた地域や名勝地等に向かうルートがあります。県内でも、月山ルート・鼠ヶ関ルートなど4つのルートがあり、山形県内のルートをあわせた総延長は45コースで469kmとなっています。

この“新・奥の細道”を楽しむために

1. コースのみどころ、地形、距離をあらかじめ調べて、余裕のある日程を組みましょう。
 2. 歩きやすい服装で、荷物は最小限にとどめましょう。
 3. 天気予報に注意して、天気のいい日を選んでゆっくり歩きましょう。
- この3つを守り、友人と、家族と、さあ出発!

おねがい

- ・ゴミは捨てないで持ち帰りましょう。
 - ・たばこの投げ捨てや、山火事には十分注意しましょう。
 - ・案内板や休憩所はみんなのもので、大切にしましょう。
 - ・美しい自然は、人間だけのものではありません。草花や虫たち、小鳥たちのためにも自然を汚さないようにしましょう。
- そして、美しい自然を後世まで伝えていきましょう。

このみちは、年金積立金元還元融資を受けてつくられました。

周辺のアクセスガイド

- 楯岡までは
- ・JR山形駅から奥羽本線で楯岡駅まで40分。
- ・山形空港よりタクシーで15分。
- 東根温泉までは
- ・JR山形駅から奥羽本線で東根駅まで30分。
- ・そこから徒歩10分。



観光・宿泊のお問合せ 村山市観光協会 ☎0237-55-2111
〒995 村山市中央1-3-6

東根市観光協会 ☎0237-43-1164
〒999-37 東根市中央1-1-1

交通のお問合せ JR楯岡駅 ☎0237-55-2011
〒995 村山市楯岡駅新町1-10-1

JR東根駅 ☎0237-42-0024
〒999-37 東根市大字東根番外地

コースのお問合せ 村山市商工観光課 ☎0237-55-2111
〒995 村山市中央1-3-6

東根市商工観光課 ☎0237-42-1111
〒999-37 東根市中央1-1-1

山形県環境保護課 ☎0236-30-2207
〒990 山形市松波2-9-1

表紙の写真は東沢公園